近年の海外企業の東証上場について

- 東証では、海外への成長資金供給と投資家への新たな投資機会提供の観点から、引受証券会社やJETRO等の諸機関とも連携し、引き続き、重複上場、単独上場であるか問わず、海外企業の上場誘致を行っている。
- 最近の実績としては、資金調達意欲が旺盛なベンチャー企業で、日本におけるビジネス、取引、資本関係の深い、またはその意欲のある企業が、東京市場への上場を果たしている。特に、日本の株式会社に転換して上場する例が多くなっている。

上場日/ 上場予定時期	企業名	上場 市場	国名	上場スキーム	事業内容
2015/8/8	サンバイオ	マザーズ	アメリカ	日本法人化	脳梗塞や外傷性脳損傷など中枢神経系疾患を対象とした再生細胞薬の開発・製造・販売
2017/9/29	Techpoint	マザーズ	アメリカ	JDR	監視カメラ、車載カメラ向け半導体の開発・製造・販売
2018/12/19	Kudan	マザーズ	イギリス	日本法人化	人工知覚技術の研究開発及びソフトウェアライセンスの提供
2020/8/13	モダリス	マザーズ	アメリカ	日本法人化	CRISPR技術を用いた医薬品開発及びプラットフォーム技術の提供
2020/12/22	Kaizen Platform	マザーズ	アメリカ	日本法人化	Web サイトのUI/UX 改善サービスの提供及び広告/営業/販促動画制作支援
2021/3/30	Appier Group	マザーズ	台湾	日本法人化	マーケティングとセールスの領域におけるAIプラットフォームの開発・提供

外国有価証券を対象とする東証のETF・ETNについて

- 東証では、個人投資家が、株式と同様にリアルタイムで売買でき、かつ低コストで分散投資を可能とする投資商品として、ETFやETNの上場・売買に力を入れてきた。近年上場銘柄も増加し、2020年3月現在で、ETFで237銘柄、ETNで27銘柄が上場している（AUM（運用資産残高）ベース：世界で4位、アジアで1位。）。
- このうち、外国有価証券（株式、債券、REIT）を対象にしたものも多く、ETFで77銘柄、ETNで10銘柄が上場している。米国、中国、英国等の単一国から、欧州や全世界など地域横断的なものなど多様性に富んでいる。

ETF（外国株式）

地域	対象指数	銘柄数
米国	S&P500など4指標	20
中国	CSI300など7指標	8
韓国	KOSPI200など2指標	2
英国	FTSE 100インデックスなど2指標	2
全世界型・地域型	MSCI EMUインデックスなど11指標	17
その他地域（南アフリカ・インド・マレーシア・スイス・ロシア・タイ・ブラジル）	FTSE/JSE Africa Top40など7指標	7

※ 上記以外に、海外債券ETF（新興国や先進国、米国等17銘柄）及び海外REIT ETF（4銘柄）、計21銘柄も上場している。

ETN（外国株式）

地域	対象指数	銘柄数
米国	ダウ・ジョーンズ工業株30種平均	2
香港	ハンセン指数	2
インド	Nifty50	2
シンガポール	S&P シンガポールREIT指数	1
韓国	韓国総合株価指数200	2
東南アジア	STOXX アセアン好配当50	1